





# 環境システム系 履修の流れの例

※これは環境システム系科目を中心に履修の流れをモデル的に示したものであり、自らが何を学びたいかを良く考えて履修の計画をたてること。

◎は必修科目



# カリキュラムマップ

各科目が属するディプロマポリシーに○を付記しています。

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標				
			DP1.地球の視点の下で地域の歴史・文化を重んじながら、持続可能な社会に必要な基盤システムの整備と維持管理を担うことができる	DP2.科学技術の光と影を的確に見極め、人類の幸福を実現するための公益に資する技術を社会へ提供できる	DP3.技術者としての公平性・誠実性・不偏的態度を備え、継続的に自己を研鑽するとともに、後進の人材を教育・育成することができる	DP4.技術者としての使命を果たす上で必要な教養と専門知識を備え、それらを活用・応用することにより様々な制約条件下で困難な課題を解決することができる	DP5.地域・国際社会との対話・協調・協働に必要なコミュニケーション能力を有し、技術者としての説明責任を果たすことができる
外国語科目	英語	1 英語 1			○		○
		1 英語 2			○		○
		1 英語 3			○		○
		1 英語 4			○		○
		1～ 英語 1 (補講)			○		○
		1～ 英語 2 (補講)			○		○
		1～ 英語 3 (補講)			○		○
		1～ 英語 4 (補講)			○		○
		3～ 英語表現技術				○	○
英語以外	1～ イタリア語・イタリア文化				○	○	
	1～ 中国語・中国文化				○	○	
基盤科目	総合系	3～ 技術者倫理		○			
		1～ 認知科学		○		○	
		1～ 環境とエネルギー		○		○	
		1～ デザイン文化論		○	○	○	
		2～ 数理統計学				○	
		2～ デザイン思想史概論		○		○	
		3～ 文明と資源		○		○	
		1～ スポーツ総合演習		○	○		○
		人文社会系	1～ 法学概論		○		○
	1～ 知的財産権			○		○	
	1～ 開発と国際協力			○		○	
	1～ 現代企業論			○		○	
	1～ マーケティング			○		○	
	1～ エコノミクス			○		○	
	1～ 文化と文明			○		○	
	1～ 哲学			○		○	
	1～ 文化人類学			○		○	
	理工系	1～ 数学 1 及演習				○	
		1～ 数学 2 及演習				○	
		1～ 物理 1 及演習				○	
		1～ 工業力学及演習				○	
		2～ プログラミング及演習				○	
		2～ 確率・統計				○	
		1～ 物理 2				○	
1～ バイオ・ケミカルエンジニアリング					○		
1～ 生態学概論					○		
1～ 図学及演習					○		
1～ ジオロジカルエンジニアリング				○			
2～ 数値計算法				○			

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー— 学位授与の方針についての目的や目標				
			DP1.地球の視点の下で地域の歴史・文化を重んじながら、持続可能な社会に必要な基礎システムの整備と維持管理を担うことができる	DP2.科学技術の光と影を的確に見極め、人類の幸福を実現するための公益に資する技術を社会へ提供できる	DP3.技術者としての公平性・誠実性・不偏の態度を備え、継続的に自己を研鑽するとともに、後進の人材を教育・育成することができる	DP4.技術者としての使命を果たす上で必要な教養と専門知識を備え、それらを活用・応用することにより様々な制約条件下で困難な課題を解決することができる	DP5.地域・国際社会との対話・協調・協働に必要なコミュニケーション能力を有し、技術者としての説明責任を果たすことができる
基礎科目	留学生科目	1～ 日本語 1			○	○	
		1～ 日本語 2			○	○	
		1～ 日本語 3			○	○	
		1～ 日本語 4			○	○	
		1～ 日本文化論	○	○		○	
		1～ 日本の工業技術	○	○		○	
		1～ 一般数学				○	
専門科目	導入科目	1～ 導入ゼミナール（都市）	○	○	○	○	
		2～ 基礎ゼミナール	○	○	○	○	
	基礎科目	1～ 国土・地域概論				○	
		2～ 測量学				○	
		2～ 測量実習				○	
		2～ 社会基礎概論	○	○	○	○	
		2～ 都市計画法と政策				○	
		2～ 構造力学 1 及演習				○	
		2～ コンクリート工学及演習				○	
		2～ 鋼構造学及演習			○	○	
		2～ RC構造学及演習			○	○	
		2～ 水理学 1 及演習				○	
		2～ 地盤環境工学				○	
		2～ 工業英語				○	
		1～ デザインスタジオ				○	
		2～ 都市・地域政策				○	
		2～ 測量学演習				○	
		2～ 地図とGIS				○	
		2～ CAD実習				○	
		2～ 建築の空間と形態	○	○		○	
		2～ サステイナブルデザイン	○	○	○	○	
		2～ 風土と建築（都市）	○	○	○	○	
		2～ 福祉工学	○	○	○	○	
		2～ 環境工学				○	
		2～ マテリアルサイエンス	○	○	○	○	
		2～ 構造力学 2				○	
		2～ コンクリート技術				○	
		2～ PC構造デザイン				○	
		2～ 水文気象学				○	
		2～ 水理学 2				○	
		2～ 流域水文学				○	
		2～ テクニカルライティング				○	
	2～ 地盤力学及演習				○		

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標				
			DP1. 地球的視点の下で地域の歴史・文化を重んじながら、持続可能な社会に必要な基盤システムの整備と維持管理を担うことができる	DP2. 科学技術の光と影を的確に見極め、人類の幸福を実現するための公益に資する技術を社会へ提供できる	DP3. 技術者としての公平性・誠実性・不偏的態度を備え、継続的に自己を研鑽するとともに、後進の人材を教育・育成することができる	DP4. 技術者としての使命を果たす上で必要な教養と専門知識を備え、それらを活用・応用することにより様々な制約条件下で困難な課題を解決することができる	DP5. 地域・国際社会との対話・協調・協働に必要なコミュニケーション能力を有し、技術者としての説明責任を果たすことができる
専門科目	展開科目	2～ プロジェクトスタジオ				○	
		3 ゼミナール	○	○	○		○
		3～ 工学実験 1			○	○	○
		3～ 河川環境工学				○	
		3～ 工学実験 2			○	○	○
		4 卒業研究 1 (都市)			○	○	○
		4 卒業研究 2 (都市)			○	○	○
		3～ ランドスケープデザイン	○	○	○	○	○
		3～ 都市デザイン					○
		3～ 建築法規 (都市)					○
		3～ 都市調査解析					○
		3～ タウンマネジメント	○	○	○	○	○
		3～ 交通計画					○
		3～ 街づくりとデザイン					○
		3～ 公共空間デザイン及演習	○	○	○	○	○
		3～ 建築設計基礎					○
		3～ 景観とデザイン					○
		3～ 橋のデザイン実習					○
		3～ 鋼構造デザイン実習				○	○
		3～ RC構造デザイン実習					○
		3～ 有限要素法基礎					○
		3～ 検査技術					○
		3～ メンテナンス工学					○
		3～ 上下水道システム					○
		3～ ジオテクニカルデザイン					○
		3～ 水資源工学					○
		3～ 環境マネジメント					○
		3～ 水圏環境システム					○
		3～ 海洋環境工学					○
		3～ 減災工学					○
		3～ インターンシップ (都市)					○
3～ 工業英語実習					○		
3～ 耐震工学					○		
3～ 品質マネジメント	○	○	○	○	○		
特別科目	2～	Design Basics in English				○	○